

理化学的検査

食品の中には、微生物のほかに、様々な化学物質などが含まれる可能性があります。食物連鎖を通じて蓄積されたもの、環境に由来して食品に残留したもの、本来その食品を組成するもの、あるいは人が意図的に添加したものなど。

こうした化学物質などの中には、一定量を超えて摂取し続けると人の健康に危害をもたらすものがあり、これを防ぐために、法令により様々な基準が設けられています。

群馬県では、食品安全検査センターにおいて理化学的検査の検査体制の充実・強化に取り組んでいます。



残留農薬

検査機関: 食品安全検査センター

食品衛生法では、食品ごとに使用された農薬について、許容される残留量の基準が設定されています。本県では、①群馬県農薬適正使用条例に基づく県内農産物の生産段階での検査、②食品衛生法に基づく加工、流通、小売段階での収去検査、③県独自の県内小売段階での試買検査の三段階で、県内産や県内に流通する農産物等の残留農薬検査を実施しています。

平成23年度は合計238検体を検査したところ、食品衛生法の残留基準を超えるものはありませんでした。

平成23年度残留農薬検査(食肉を除く)の概要

区分	検体数	うち輸入品	延べ結果判明項目数
①県内産農産物生産段階	100	—	17,690
②県内加工・流通・小売段階	85	51	13,326
③県内小売段階	53	27	7,878
合計	238	78	38,894

このほか、食肉についても残留有害物質モニタリング検査として、残留農薬検査を実施しています(19ページ参照)

検査結果解説

●適用外農薬及び使用実績のない農薬が検出された事例

農薬取締法上、当該農作物に使用が認められていない農薬(以下「適用外農薬」という)や使用実績のない農薬の検出事例が6例ありました(下表参照)が、調査の結果、主な原因は防除器具の洗浄不足や隣接地からの飛散(ドリフト)、前作物に使用した農薬の土壌残留等によるものと推測され、担当部局が防除機具の管理、農薬の使用及び散布方法について生産者を指導しました。

*1	品名	えだまめ(1検体)
	検出農薬	エンドスルファン(適用外農薬成分)
	原因	原因不明
*2	品名	しゅんぎく(1検体)
	検出農薬	クロチアニジン
	原因	前作物に使用した農薬の土壌残留と考えられる。
*3	品名	しゅんぎく(1検体)
	検出農薬	フェニトロチオン、プロシメドン、マラチオン(全て適用外農薬成分)
	原因	防除器具の洗浄不足と考えられる。
*4	品名	なし(1検体)
	検出農薬	シベルメトリン(使用実績のない農薬成分)
	原因	生産者における使用実績がなく、隣接地からのドリフトと考えられる
*5	品名	ほうれんそう(1検体)
	検出農薬	クロチアニジン(適用外農薬成分)
	原因	生産者が適正に使用した農薬(チアマトキサム:ほうれんそうに登録あり)が、農薬散布から検査処理過程の間にクロチアニジンに変化したものと考えられる。
*6	品名	しゅんぎく(1検体)
	検出農薬	ダイアジノン(適用外農薬成分)
	原因	原因不明

農薬は

農林水産大臣による登録制度により、製造・使用等が厳しく規制されています。農薬それぞれについて、使用してもよい作物(適用作物)、使用回数、使用時期などが細かく決められています。

使用が認められている

使用が認められていない

適用外農薬

ドリフトとは

散布された農薬が、本来目的とすべき作物でない場所まで浮遊・飛散してしまう現象のことです。周辺住民等への被害、近接作物への残留リスク、散布者への農薬暴露などを回避するため、農薬使用者はドリフト対策に最大限の注意を払うことが求められています。

平成23年度残留農薬検査の内訳

区分	品目	検体数				検査項目数	結果判明項目数	違反	検出検体数	生産地	検出検体			
		計	国産	県内	輸入						農薬検出名	農薬別検出数	検出値(ppm)	残留基準値(ppm)
県内産農産物生産段階(農産物等の安全検査)	トマト	10	10	10	0	2,400	1,850	0	5	群馬県	アゾキシストロピン	1	0.018	3
											イプロジオン	2	0.068~0.22	5.0
											ジエトフェンカルブ	3	0.006~0.041	5.0
											ピリダベン	1	0.009	1.0
											フルジオキサニル	1	0.012	2
											プロシメドン	1	0.018	5
	なす	10	10	10	0	2,400	1,940	0	4	群馬県	アセタミプリド	1	0.014	2
											クロルフェナピル	1	0.015	1
											ブプロフェジン	1	0.006	1
											フルフェノクスロン	1	0.024	2
											プロシメドン	1	0.007	5
											ペルメトリン	1	0.016	1.0
	えだまめ	10	10	10	0	2,400	1,910	0	7	群馬県	アゾキシストロピン	3	0.040~0.085	5
											エトフェンプロックス	1	0.030	5
											エンドスルファン*1	1	0.006	0.5
											クロチアニジン	2	0.010~0.019	2
											クロマフェナジド	1	0.010	5
											シベルメトリン	6	0.019~0.089	5.0
											フェンピロキシメート	2	0.005~0.057	2.0
	キャベツ	10	10	10	0	2,400	1,510	0	2	群馬県	アセタミプリド	1	0.008	3
											プロシメドン	1	0.005	2
	きゅうり	10	10	10	0	2,400	1,900	0	8	群馬県	アセタミプリド	4	0.024~0.053	2
											イミダクロプリド	1	0.013	1
											クロルフェナピル	3	0.008~0.036	0.5
チアマトキサム											1	0.043	0.5	
トリフルミゾール											1	0.053	1.0	
フェンピロキシメート											1	0.021	0.5	
フルジオキサニル											1	0.011	2	
プロシメドン											3	0.039~0.18	5	
ホスチアゼート											1	0.005	0.2	
メタキシル及びメフェキサム											3	0.006~0.017	1	
しゅんぎく											10	10	10	0
	アゾキシストロピン	1	1.3	30.0										
	オキサジキシル	2	0.006, 0.012	5										
	クレソキシメチル	1	0.39	30										
	クロチアニジン*2	1	0.007	0.2										
	フェニトロチオン*3	1	0.029	0.2										
	フルフェノクスロン	2	0.24, 0.67	10										
こんにゃくいも	10	10	10	0	2,400	2,160	0	2	群馬県	プロシメドン*3	1	0.097	5	
										マラチオン*3	1	0.014	2.0	
											イミダクロプリド	2	0.007, 0.012	0.4

(次ページへつづく)